

地区名	学校名	書名	著者名	あらすじやおすすめポイントなど	出版社	本体価格	初版年
厚別区	厚別西	ゆきのようせい	松田奈那子	仲間よりちょっと出遅れたゆきむしが森の動物たちに冬の訪れを知らせて飛びまわります。でもみんな既に知っていて、街に着いた頃には落ち込んでしまいました。 でも、街でゆきむしと出会った子どもたちの反応は…。 2022年度の北海道指定図書なのでご存知の方も多いかと思います。作中では北海道の地名などは出てきませんが、街の公園の描写は大通公園そのものでしたので、今回はこちらの本を選びました。	岩崎書店	1,400	2021
厚別区	小野幌	海のむこう	土山優	北海道、留萌が舞台の絵本です 夏の終わりから春になるまでの そこに住む少女のお話です 道民であればすぐに理解できる言い回しに思わずうなずいてしまいます 最後に「クマ」というのは飼い犬のことです	新日本出版社	1,650	2013
厚別区	もみじの丘	カッコウが鳴く日	小泉るみ子	美唄市出身の小泉るみ子さんの絵本です。 北海道の冬から春、初夏への季節の移り変わりを描いています。 冒頭の描写は、北海道に住んでいる人なら解る感性ではないかと思います。 温かみのある色合いの絵柄で、後半の新緑の季節は特に印象的です。	ポプラ社	1,540	2002
厚別区	共栄	金木犀とメテオラ	安壇美緒	北海道に新設された、中高一貫女子校が舞台。思春期の焦燥・葛藤・嫉妬が2人の少女の視点で書かれた青春小説。少女たちの心理描写や、季節ごとの空気感が、上手く表現されており読みやすい。	集英社	1,700	2020
厚別区	もみじの森	きょうりゅうのサンいまぼくはここにいる	かさい まり	北海道むかわ町穂別から発見された、むかわ竜という恐竜をモデルにしたお話です。卵からかえったサンは仲間たちと楽しく暮らしていましたが、不幸にも、ティラノサウルスに追いかけられ死んでしまいます。サンは、湖の底に沈み、数千万年という時間がたち、化石となり人間の手によって発掘されました。「時空を超えた命のつながり」と「運命的な出会い」を感じ、科学の楽しみを教えてください。	アリス館	1,500	2019

厚別区	新札幌わかば	アンモナイトの夏	本木洋子	美唄の炭鉱の町、夏休みのある日の夜明け。3人の少年は自転車でアンモナイト探しの冒険に出る。石を割ってはリュックに入れて重たい帰り道。少年たちの夏の1日が細やかに描かれ、まるで一緒にアンモナイト探しをしたかのような気分になります。	新日本出版社	1,400	2007
手稲区	新陵	シマフクロウ びのぼうけん	ち 北海道シマフクロウの会	生まれつき片方の羽が短いシマフクロウちびと、やさしい女の子ユキのお話。ユキを背中に乗せてちびが森の中を飛ぶ夢を通して、北海道の自然の変化やシマフクロウの保護を伝えています。ちびは実在し、首をかしげたちびの絵が可愛いです。	北海道新聞社	1,600	2016
手稲区	西宮の沢	北加伊道	関谷 敏隆	武四郎は16歳から家を出て日本中をめぐり、山川の地形を詳しく描きました。160年前、28歳からの厳しいエゾ地調査探検の様子、アイヌとの関わりがわかりやすく描かれています。	ポプラ社	1,600	2014
手稲区	富丘	紅玉	後藤竜二	以前教科書に載っていたお話です。 戦地から戻った父のりんごの収穫を楽しみにしている心とは対照的に、異国の地で飢えと労働、その後自分の国に帰れたかどうかもわからない人々 その体験を毎年秋になると語り続ける父親とその心情がせつないお話です。	新日本出版社	1,400	2005
手稲区	稲穂	エカシの森と子馬のポンコ	加藤 多一	牧場から逃げ出した子馬のポンコは、森の長老（エカシ）の木や虫や植物から様々なことを教わりながら、自由気ままに楽しく暮らしていた。やがて季節は巡り、変わってゆく身体と心に戸惑うポンコ。子供から大人の馬への成長を受け止め、あくまでも自分の意思で進む道を決めてゆくポンコの姿がすがすがしい。 ポンコを支える森の生き物や、無理やり連れ戻すことをせず遠くから見守っている牧場の人達も温かい。 （2021年 青少年読書感想文コンクール 高学年の部 課題図書）	ポプラ社	1,600	2020

				北海道紋別市にある、日本唯一のアザラシ保護施設で働く飼育員の奮闘保護エッセイ！			
				<p>幼い頃に出会ったぬいぐるみがきっかけで、アザラシの虜となった一人の女性。「ただただ、アザラシのそばにいたい」という想いが、これまでの歩みを進める原動力だった。</p> <p>飼育員として10年以上現場に携わった著者による、愛情深く誠実な保護活動の記録です。単なる動物エッセイではなく、生き物を救うことの意味、悩み、現実に向き合ったリアルなノンフィクションです。</p>			
手稲区	前田	寝ても覚めてもアザラシ救助隊	岡崎 雅子	<p>皆さんには「これが好き」と心から思えるものがあるだろうか。周囲に理解されなくても、誰かに胸を張って語れなくてもかまわない。そんなことはたいしたことではないと思えるくらいに、私はアザラシが大好きなのだ。アザラシの魅力や保護活動の現状をお伝えしたいことはもちろん、皆さんの「これが好き」という気持ちを応援できたら、とても嬉しい。</p> <p>(はじめにより)</p> <p>好きなことにとことん打ちこむ姿勢が心に響きます。子どもたちにも是非読んでみてほしい一冊です。</p>	実業之日本社	1,650	2022
手稲区	手稲山口	ゆきかきでんしゃ	鈴木 周作	<p>月刊予約絵本「ちいさなかがくのとも」2022年12月号です。出版社に問い合わせたところ、まだ若干数在庫があり、書店を通じて注文可能とのことだったので紹介させていただきます。</p> <p>毎年、雪の季節になるとササラ電車の取り付け準備や初出勤がニュースになります。しかし、札幌の風物詩でありながら路面電車のない地区に住んでいるとなかなか見る機会はありません。</p> <p>そんなササラ電車の1日の仕事の様子や、職員の細やかな配慮を、優しく丁寧な絵と文で描かれている絵本です。ササラ電車を見たことのない子どもたちにもわかりやすく、馴染み深い札幌の風景とともに楽しめるところがおすすめです。表紙の絵が中央図書館前というのにも惹かれます。</p> <p>ハードカバー化されてほしい作品です</p>	福音館書店	400	2022

手稲区	手稲宮丘	北海道民のオキテ	さとうまさ&もえ	道産子なら誰でもわかる！あるあるがたくさんっています。全国共通だと思っていた言葉が北海道弁だと気づく事が多々あります。北海道の魅力を再発見できる1冊です。	KADOKAWA	1,000	2014
手稲区	手稲西	月まで三キロ	伊予原 新	6作の短編からなる作品。その中の「アンモナイトの探し方」が北海道が舞台の作品。 小学生6年生の朋樹は、突然塾にいけなくなり心療内科で環境を変えてみるといい、と言われ夕張と三笠市の間に位置する 母の故郷の富美別（架空の街）にやってきた。 川辺でアンモナイトの化石を掘る偏屈な老人と出会って少しずつ心を開いて行くエピソード。地学や天文学など理系の専門的な知識がやさしく織り込まれていて読みやすい。	新潮社	1,600	2018
手稲区	手稲北	しあわせのパン	三島有紀子	映画を見たのが先でした。映画の中の景色の素晴らしさ、時間の進み方、季節の移り変わりなど北海道ならではの映像でした。その後原作であるこの本を読みました。読み進めていく内に登場人物たちの細かい気持ちが表現されていて、静かに更に情景を感じる事が出来ました。まだ読んでいない方には是非ともおすすめです。	ポプラ文庫	600	2011
手稲区	西	エピタフ 幻の島、ユルリの光跡	岡田 敦	北海道の東端にある無人島、ユルリ島の歴史と馬を巡る物語。なぜ島民は去り馬だけが残されたのか。ユルリ島を10年にわたり取材撮影され、ユルリ島に生きる馬の姿を中心に貴重な写真が多数収録されています。	インプレス	2,700	2023
手稲区	前田北	金木犀とメテオラ	安壇美緒	北海道生まれの安壇美緒さんが書いたこの本は、北海道のある場所に新設された女子校が舞台の青春物語。複雑な家庭環境の学生たちが中高一貫校で成長していく様子が描かれています。生徒たちの複雑な心情が丁寧に描かれています。中学生以上におすすめの本です。	集英社	1,700	2020

手稲区	前田中央	該当なし		該当なし			
手稲区	星置東	カムイの大地	泉田もと	北海道(北加伊道)の名付け親、松浦武四郎の生涯。幕末、何度も蝦夷地を探検し、書物を残したことは知られるところだが、そのエネルギーと、アイヌ民族への敬愛の姿勢には、目を見張る。旅の途中、命を狙われるスリルある場面もあり、史実の中に、架空のアイヌの少年との物語が織り込まれ、松浦が生き生きと描かれている。絵本「北加伊道」(ポプラ社)が、理解の一助になろうかと思う。	岩崎書店	1,500	2023
手稲区	手稲中央	探偵は教室にいない	川澄浩平	北海道(特に札幌)の地名や地元の場所が出てくるのでとても想像しやすく読んで親しみやすいです。	東京創元社	1,500	2018
西区B	発寒東	にこにこぎゅっ	ひだのかな代	この絵本のモデルとなった円山動物園で生まれたホッキョクグマの双子は地球温暖化等の影響によりホッキョクグマが絶滅危惧種に指定されてから初めて無事に育った赤ちゃん達です 地球環境についてメッセージを優しく伝えてくれているように感じられます	中西出版株式会社	1,100	2009
西区B	西野	いのちのいれもの	小菅正夫 文 堀川真 絵	旭山動物園を舞台にしたお話です。 動物も人間も、今いる生き物はお父さんお母さん(お父さんお母さんも、おじいちゃんおばあちゃん)から命をもらって、命が繋がっていくことを教えてくれる本です。	サンマーク出版	1,500	2011
西区B	平和	タンチョウは悪代官か？	竹田津実 作 あべ弘士 絵	『タンチョウは悪代官か？』は、北海道にすむ美しい鳥「タンチョウ」と人間との関わりをテーマにした絵本です。 見た目がきれいで人気のあるタンチョウですが、実は農家の人たちにとっては困った一面もあります。 この本では、そんなタンチョウの「いいところ」と「わるいところ」の両方を見つめながら、「どうやって人と動物がうまく暮らしていけるのか？」を考えることができます。 かわいらしい絵と、わかりやすい言葉で書かれているので、小学生にもぴったり。 自然や生き物、そして人とのつながりに興味がある人に、ぜひ読んでほしい一冊です。	偕成社	1400	2006

西区B	西野第二	緑の中で	椰月美智子	北大の恵迪寮が舞台。主人公の大学生活の1年を描いた物語です。北海道ならではの季節描写が瑞々しく、住んでることを誇りに思えました。青春小説ですが、アクセントとなる事件も起きるので、一気に読めました。	光文社	1,650	2018
西区B	発寒西	探偵は教室にいない	川澄 浩平	2018年の第28回鮎川哲也賞受賞作。 我が発寒西小学校に隣接する発寒中学校が舞台の、日常のささやかな謎をとく青春ミステリです。地元の情景を思い浮かべながら読めるので、面白さ倍増です！続編「探偵は友人ではない」もあります。	東京創元社	1,500	2018
西区B	西園	明日の僕に風が吹く	乾ルカ	叔父に憧れ医師を目指していた有人は、ある出来事をきっかけに引きこもるようになってしまいます。彼を心配した叔父は自身が医師として働く北海道の離島の高校への進学を勧めます。夢を諦め居場所も失った有人が、東京とは何もかも違う離島での生活の中で癒され成長していきます。 未来へと歩み出す勇気をもらえる1冊です。	KADOKAWA	760	2022
西区B	発寒南	ゆきのようせい	松田奈那子	土の中で目覚めた雪虫が、森の動物たちに冬の訪れを知らせながら、まちに飛んでいくおはなしです。 かわいらしい雪虫の姿と、やわらかい色彩で描かれた札幌の街並みが、心をあたためてくれます。	岩崎書店	1,400	2021
西区B	福井野	大きな時計台 小さな時計台	小川嶋康男	札幌中心部にある時計台のお話です。 登場人物の井上少年が、どれほど時計台に想いを抱いているのかが伝わってきます。今まで、何気なく通り過ぎていた時計台を、もう一度じっくりと見てみたい気持ちになります。	絵本塾出版	1,300	2011
西区B	手稲東	どさんこうまのふゆ	本田哲也	開拓時代から働いてきた道産子が北海道の厳しい冬を乗り越える話です。現在はなかなか触れる機会のない道産子馬ですが、子どもたちにも知ってもらいたいです。	ベネッセ コーポレーション	1,456	1991

西区B	発寒	レイモンさん	植松三十里	大正末期から昭和にかけて、函館で本場のソーセージ作りに奮闘した、ドイツ人マイスター、カール・W・レイモンと日本人妻コウ。肉食習慣のない日本人に受け入れられず、戦争が外国人に過酷な仕打ちを……。健康で平和な暮らしを実現しようと、ソーセージ作りに奮闘する夫婦の愛と信念を描いた波瀾万丈物語。読んだあとにはソーセージが食べたくなります！	集英社	750	2020
中央区・西区A	琴似中央	エトピリカの海	本田哲也	絵がとてもキレイです。エトピリカはアイヌ語で「美しいくちばし」という意味をもちます。絶滅寸前のエトピリカの繁栄に願いを込めて描かれています。	偕成社	1,200	1998
中央区・西区A	山の手	どうぶつさいばん タンチョウは悪代官か？	作・竹田津 実 絵・あべ弘士	北海道の東のはずれにある広い湿原が舞台。「どうぶつさいばん」シリーズ2作目。 今回は仲間を次々に食べられ絶滅を心配したヤチウグイが、タンチョウを訴えた！ それぞれの弁護士ヒグマとカワウソ、そして証人のキタサンショウウオやオジロワシが湿原の現状を主張する。裁判長のワタリガラスが下した判決とは？ 自然豊かな北海道で、人間と動物たちが共存するためにこれから何をすべきか？を、考えるきっかけになる1冊です。	偕成社	1,540	2006
中央区・西区A	八軒北	シロクマのシロさんと北海道旅行記	百度ここ愛	受験に失敗し、彼氏にも振られ、思わず家を飛び出し衝動的に北海道に向かった主人公が大きくてもふもふのシロクマに出会った。なんだか親しみやすく、面倒見がいい。ちょっと偉そうだけど、可愛くて許せてしまう。そこから一人と一匹の不思議な北海道旅行が始まった。家族とのあり方や自分探しの旅でシロクマの言葉が胸に刺さる。	アルファポリス	770	2025
中央区・西区A	二条小	二平方メートルの世界で	前田海音	作者が小学生の時の闘病生活のことについて書いた作品で、子どもなりに自分のおかれた状況や周りの気持ちを思いやる心が、札幌の中央区で良く見る風景とともに、リアルに描かれている。	小学館	1,650	2021

中央区・ 西区 A	桑園	探偵は教室にいない	川澄 浩平	<p>【あらすじ】 謎と出会い、わたしたちはすこしだけ大人になる。北海道の中学校に通う少女・真史(まふみ)が会おう、ささやかだけど、とても大切な謎。少年少女が新たな扉を開く瞬間を切り取った四つの物語。第二十八回鮎川哲也賞受賞作。</p> <p>【おすすめポイント】 中学生の日常の謎を解く青春ミステリー。優しい謎解きと、真史の友だち達も魅力的でスラスラと読み進められます。特に探偵役、幼馴染の歩くんの変人っぷりがとても良いです。北海道のスポットも素敵に描写されており、続編の『探偵は友人ではない』もぜひ一緒に楽しんで頂きたいです。</p>	東京創元社	1,500	2018
中央区・ 西区 A	日新	物語のおわり	湊かなえ	<p>湊かなえさんなのに毒のない作品。未完の小説が、いろんな縁で、人から人へと北海道各地を渡っていく。短編集かと思いきや、最後はパズルのピースが埋まるように一つの長編となります。題名とは反対の、「物語のはじまり」を感じるラストにほっこりしました。</p>	朝日新聞出版	640	2014
中央区・ 西区 A	幌西	あめかっぱ	むらかみさおり	<p>絵本です。北海道が舞台と明言はされていませんが、著者が北海道出身の方で、情景が「まさに北海道だなあ」と感じる絵なので、こちらを選びました。突如現れたかっぱが主人公を雨の日の森にピクニックに連れていってくれるお話で、とても魅力的な世界が描かれています。読み聞かせにも良いのではと思います。</p>	偕成社	1300	2020
中央区・ 西区 A	中央	君に向かって線を引く	升井純子	<p>「さくららら」、「ドーナツの歩道橋」の著者 升井純子さん（札幌市在住）の新刊です。</p> <p>男子高校生が主人公で、ヤングケアラーについて描かれている小説です。物語の中に、札幌のあの辺りのことかなあ、という描写が散りばめられています。さまざまなエピソードに、心がザワつきましたが...読み終えると、希望で胸が満たされました。</p> <p>「ローカルブックス札幌」の本が循環する仕組みにも注目したいです。北海道で活動しているみなさんを応援したい気持ちをこめて、この一冊をおすすめします。</p>	森の出版社 ミチクル	1100	2025

中央区・ 西区 A	二十四軒	北国からの手紙 キタキツネが教えてくれたこと	井上浩輝	札幌出身のカメラマンのエッセイ。 写真がとっても可愛いです！ また、野生動物を撮る際に感じた事が書かれています。	アスコム	1600	2018
中央区・ 西区 A	大倉山	探偵は教室にいない	川澄浩平	中学生が主人公の青春ミステリ。日常でおきるちょっとした謎を、不登校の頭の切れる中学生が解き明かしていくお話。 札幌が舞台で、身近な地名にワクワク。本校の校区内を歩く場面もあります！	東京創元社	1,500	2018
中央区・ 西区 A	琴似	シマフクロウちびのぼうけん	北海道シマフクロウの会	北海道の森を舞台に怪我をして飛べないシマフクロウと少女の交流を描いた絵本です。 実際に十勝の森で保護されたシマフクロウをモデルに創作されています。 物語を通じてシマフクロウの保護活動や環境維持のための取り組みに触れることができます。 またシマフクロウの生態などの科学的なデータも載っているため、シマフクロウを深く知ることができると思います。 生き活きとしたシマフクロウや北海道の壮大な自然をイラストでも楽しめる絵本です。	北海道新聞社	1,600	2016
中央区・ 西区 A	八軒西	ラポラポラ	ふくだゆきひろ	「ラポラポラ」はアイヌ語で「はばたく」という意味で、「森を自由にとびまわる妖精」という意図で使われる地域もあるそうです。この本では、作者が北海道の森に生きる野生動物たちの姿を通して、「ラポラポラ」を見つける様子が描かれています。 見どころは、四季折々の北海道の森の景色と野生動物たちの写真の数々です。春の小川にサケのあかちゃんがいる様子は、北海道ならではの景色だと思います。また、写真を通して、北海道の緑豊かな森が、たくさんの動物たちの命を育んでいることがよくわかります。野生動物だけでなく、「ラポラポラ」のためにも、私たちはこの森を末永く維持していかなければならないと、改めて感じる一冊でもあります。	そうえん社	1,300	2007

中央区・ 西区 A	八軒	二平方メートルの 世界で	前田海音	<p>このお話は北海道生まれの小学3年生の女の子のお話です。題名の二平方メートルというのは、病院のベッドの大きさです。そのベッドの上で彼女が見たり、聞いたり、感じたことを伝えているノンフィクションの絵本です。</p> <p>『一日一日の大切さを、いっしゅん感じたり見たり聞いたりすることの大切さを、わたしは知っている。』一日一日を大切に、一生懸命生きようと勇気をもらえる一冊だと思います。絵のタッチが前半から後半にかけて明るくなっていくところも彼女の心が反映されていて見どころです。</p>	小学館	1,500	2021
東区 A	札苗北	ナキウサギの山	本田哲也	北海道にしかないナキウサギとオコジョ自然の世界生命の営みがとても繊細に描かれていて、ナキウサギがかわいいです。	偕成社	1,400	2021
東区 A	中沼	北の動物園で書いた12のお話 旭山動物園物語	浜 なつ子	<p>旭山動物園が舞台のエピソード集です。</p> <p>「野生動物はペットでも家畜でもない」この理念を軸に、動物にとってより良い環境を常に考えていく...そんな姿勢にいろいろと考えさせられます。</p> <p>飼育係さんから見る動物たちは個性的で生き生きとしており、動物と真剣に向き合う姿勢が旭山動物園を作っているんだと、実際に行ってみたくなる、そんな本です。</p>	角川学芸出版	1,200	2005
東区 A	札苗	お前なんかにあいたくない	乾ルカ	<p>スクールカーストが題材</p> <p>10年後の同窓会</p> <p>いじめた側といじめられた側の認識の違い</p> <p>学校という狭い世界の中で自分を守る為の葛藤が描かれています</p> <p>親世代の私達が読むと子どもを思い胸がギュッととなります</p>	中央公論新社	1,600	2021
東区 A	栄町	ゆきのようせい	松田奈那子	冬をを知らせてくれるゆきむし。温かみのある絵で初雪までを色々めぐって札幌のまちを旅します。北海道にゆかりのある動物もたくさん出てきます。読み聞かせにもオススメです。	岩崎書店	1,400	2021

東区 A	栄東	ピリカ、おかあさんへの旅	越智典子 文 沢田としき 絵	一匹の鮭が次の世代へ命をつなぐお話。 まるで自分が鮭になったような感覚で、海から川への旅を体験できます。 それは自らが母となり、また母親に会いに行く旅なのです。 生物共通の本能とも呼べる深い深い記憶を刺激される一冊です。 産卵場所を求め、文字通り身を削りながらの遡上シーンは、心がぎゅっとなります。	福音館書店	1,700	2006
東区 A	丘珠	木霊	永井 利幸	栗山町の泣く木の話です。聞いたことはあったのですが、そんなものがたりがあったんだと、とても興味深く読ませていただきました。語り口調で物語は進んでいきますが、北海道弁を使い語られていくので、とても北海道らしい絵本だと思います。	みらいパブリッシング	1,540	2023
東区 A	栄南	教授のパン屋さん ベーカリーエウレカの謎解きレシピ	近江泉美	パンを愛する風変わりな教授と、パンの食べ歩きが趣味の青年の交流ミステリー。札幌のあちこちの地名や、駅名や、あの商品が出てくるので、思わず「知ってる!」「行ったことある!」と笑みがこぼれてしまう物語です。 ルビがないのですが、そこは馴染みの札幌の漢字がたくさん。高学年の朝読書にもおすすめです。	ポプラ社	720	2025
東区 A	栄西	むかわ竜発掘記	企画・原案 土 屋健 監修 小 林快次 漫画 山本佳輝・サイ ドランチ	のちにカムイサウルスと命名されるむかわ竜の、『ザ・パーフェクト～日本初の恐竜全身骨格発掘記』を漫画化したものです。 ダイナソー小林こと北海道大学の小林快次教授の総指揮の下、穂別博物館学芸員はじめ様々な人が関わってむかわ竜が発掘される経過が描かれています。 2003年にクビナガリュウとして寄贈されていた一つの化石に研究者が違和感を持ち、小林教授に連絡してから事態が動き始めます。数々の文献をあたり、世界中の研究者とコンタクトを取りながら恐竜の種類を同定、何年もかけて少しずつ発掘・クリーニングを進めて、実に16年の歳月を経て全身復元骨格が完成しました。 具体的なクリーニングの方法や、発掘には多額の資金が必要なことなど、ロマンだけではなくかなり専門的・現実的なことにも触れられていて、恐竜や化石に興味がある子どもも大人も満足できる内容です。	誠文堂新光社	1,300	2019

東区 A	札幌緑	チームオベリベリ	乃南アサ	開拓時代の帯広を舞台に、道も無く厳しい自然と戦いながら、失敗しても後戻りもできない過酷な入殖者たちの人間模様を史実をもとに作られたフィクションです	講談社	2,300	2020
東区 A	栄北	島義勇伝	エアーダイブ	北海道および札幌の開拓に尽力した判官「島義勇」の物語。こういう人物が今の北海道の礎を築いたということを知ることができます。漫画書籍ですが、判官任期が短かったこともありページ数は少なめです。	DYbooks	900	2014
東区 B	美香保	逃げる女	青木 俊	札幌、旭川、釧路……北海道中を逃げまわる女と追う北海道警の刑事の熱い逃亡劇が痛快です！	小学館	1,600	2021
東区 B	元町	おばけのマールとゆきまつり	なかいれい	マールが転がした雪玉が、街の人やささら電車にも手伝ってもらって大きくなり、ゆきまつりの雪像を作ります。	中西出版	1,200	2006
東区 B	苗穂	浜村渚の計算ノート 3 さつめ	青柳 碧人	函館満載っ！数学が苦手でも、北海道の豊かさ、大らかさを感じられる話です	講談社	610	2012
東区 B	元町北	知里幸恵物語-アイヌの「物語」を命がけで伝えた人	金治直美	19才の若さで亡くなったアイヌ民族の知里幸恵の生涯の物語。アイヌ民族は古くから「土人」として差別を受け、幸恵自身も差別に傷つき苦しみながら生きてきた。それでもめげずに勉学に励み、アイヌの叙事詩ユカラをローマ字で書き記し、日本語訳を完成させた。アイヌ民族としての誇りを持ち、アイヌ文化を命がけで守ろうとした幸恵の強さが伝わってくる一冊。（小学校高学年～中学生向け）	PHP研究所	1,600	2016
東区 B	東光	いつか、太陽の船	村中李衣	東日本大震災で被災し、生活再建のために気仙沼から根室へ移住した家族が、根室の人々やベトナムからの研修生との交流等を通して、前向きに頑張る物語です。 主人公の小学生の少年も周りの人たちに支えられていることを感じながら、少しずつ成長していきます。 頑張りすぎて疲れてしまったお母さんの気持ちも(大人は)共感できます。	新日本出版社	1,500	2019

東区B	開成	探偵は教室にいない	川澄浩平	札幌市内の中学に通いバスケに打ち込む少女真史。差出人不明のラブレターをきっかけに長らく会っていなかった幼馴染を訪ねることになる。幼稚園の時から妙に大人びていて頭の切れた彼は今中学には通っていないらしい... 殺人も秘密結社も無い、ささやかだけど大切な謎解き4話。出てくる場所や交通機関が具体的にわかるので楽しい。一般書だが小学校高学年にもおすすめ。続編に『探偵は友人ではない』有り。	東京創元社	1,500	2018
東区B	伏古	ヨモツイクサ	知念実希人	天久鷹央シリーズなど医療系ミステリーで有名な作者が、はじめて書いたバイオホラーミステリー。 舞台は北海道美瑛の森の中。 黄泉の森とも呼ばれる場所で起きた神かくし事件での唯一の生き残り、茜を中心にまきおこる新たな神かくし事件。 それはヒグマによるものだと話は進んでいくのですが、実は...。 暑い夏に冷や水を浴びせかけられるような謎と恐怖を味わいたい方は是非！	双葉社	1,848	2023
東区B	札幌	あなたの思い出なに色ですか インクの魔女と約束のガラスペン	太田紫織	ニセコ町のマツカリヌプリ洋墨堂(ようぼくどう)というオーダーメイドのインク専門店が舞台のお話です 日本語の色の表現の豊かさに感心しながら読みました	文藝春秋 文庫本	800	2025
南区・中央区	南	百姓貴族	荒川 弘	「ハガレン」こと『鋼の錬金術師』でおなじみの荒川弘さんは、漫画家になる前、北海道で酪農&畑作の農家さんでした！知られざる農家の実態を描いたおもしろ農家エッセイ漫画です！ 東は河川、西は火山が北海道の大地を育んだ なぜ札幌が巨大都市になったのか？ 遅い春、急激に開いた近代文明 いくつわかる？北海道の難読地名 北海道の成り立ち、歴史、産業～北海道をもっと知るための1冊。高学年から	新書館	680	2009
南区・中央区	真駒内曙	地図で楽しむすごい北海道	都道府県研究会		洋泉社	1,500	2018
南区・中央区	幌南	ランディーとおおきなスイカ	そら	札幌にちなんだイベントや名産などが描かれている	札幌地区トラック協会	0	2010

南区・中央区	石山緑	北加伊道(ほっかいどう)	関屋敏隆	<p>北海道の名付け親と呼ばれる松浦武四郎の、旅の人生を描いた絵本。その日見聞きしたことや、山川の地形までメモを取りながら日本中を旅していた武四郎。</p> <p>エゾ地探検が始まるとアイヌの人々の不利益を知り、松前藩の悪事を知り、またそれを出版し訴えることにより命を狙われながらも6回の探検を終え「東西蝦夷山川地理取調図」を完成させた。</p> <p>現在の「北海道」の名が生まれるまでの一人の探検とアイヌの人々との交流は、現代にはない厳しさと温かさに触れられて良いと思う。高学年の読み聞かせにもオススメです。</p>	ポプラ社	1600	2014
南区・中央区	藻岩	森と川、山と海 ヒグマの旅	二神慎之介	<p>今、南区だけでなくあちこちでヒグマの被害が出ています。ヒグマ大きさをわかっていない子が思っていたより多かったのも、写真で見れる本を選びました。</p>	第一総合出版	1800	2021
南区・中央区	藤野	リラの花咲くけものみち	藤岡陽子	<p>北海道の大学に入学し、獣医師を目指す女性の成長が描かれています。彼女をとりまく人たちのあたたかさや言葉が、読者の心にも響きます。獣医師という職業、命の尊さについても考えさせられるおすすめの本です。</p>	光文社	1700	2023
南区・中央区	澄川	おばけのマールとまるやまどうぶつえん	けーたろう	<p>夜中の円山動物園に訪れたマール。そこで出会ったかわいい動物たちとの物語。実在する動物の名前の紹介があったり、クイズ形式に登場する動物達が可愛い。</p>	中西出版	1260	2005
南区・中央区	芸術の森	神さまたちの遊ぶ庭	宮下奈都	<p>トムラウシ地区に移住して来た宮下家の暮らしぶりが綴られた一冊。厳しい自然が広がる北海道に生きていることをちょっぴり誇らしく感じた気がしました。</p>	光文社	1500	2015
南区・中央区	簾舞	かしこくいきるしまりす	手島圭三郎	<p>北海道に生息する小さなしまりすの寿命は4年です。冬を越すために、きつねやふくろうに襲われながら、必死にどんぐりを集めます。冬ごもりをしているしまりすは、たくわえたどんぐりがなくなった頃、春がきたのを知ります。春がくると、しまりすの新しい一年が始まります。</p>	絵本塾出版	1700	2014
南区・中央区	藻岩北	エポエポアヤポ アイヌ文学読本	トッカリ	<p>私たちはアイヌのことを、ほとんど習っていないことがわかる</p>	のんびり出版社海豹舎	1500	2023

南区・中央区	藤の沢	二平方メートルの世界で	前田海音	<p>北海道の札幌市在住の前田海音さんという実在する当時9歳の女の子の書いた作文に、絵本作家 はた こうしろうさんが絵をつけることで作られたノンフィクションの絵本。</p> <p>幼い頃から病気のため、入退院を繰り返している海音さん。 二平方メートルはひとりで過ごすベッドの大きさであり、入退院を繰り返す中で思う、北海道での入退院に思うこと、家族に対して思うこと、9歳とは思えないほど、周りのことや自分のことをすごく考えていて、胸が痛くなるような場面が続く。そんなある日、病室のベッドであるものを発見し、悲しみだけではないことを知る。</p> <p>ひとつひとつの言葉に重みがあり、とても考えさせられる作品です。</p>	小学館	1,500	2021
南区・中央区	真駒内桜山	定山溪鉄道	久保ヒデキ	かつて白石から定山溪まで通っていた鉄道路線。沿線の風景や路線の街並み、現在の様子など、写真や記録が詳細に掲載されています。地域を支えた鉄道の、汽車の開通から地下鉄開業による廃線までの記録です。	北海道新聞社	2,800	2018
南区・中央区	南の沢	紅玉	後藤竜二 高田三郎 文 絵	第二次世界大戦直後の美唄市を舞台にした後藤竜二さんのお父様の体験談のお話です。	新日本出版社	1,400	2005
白石区	東札幌	札幌誕生	門井慶喜	幕末から昭和にかけて、未知の北海道にきた人々の情熱。極寒の地に近代都市を作るためにいろんな困難をのりこえて、開拓していく様がわかりやすく描かれています。北海道（札幌）に住んでいる人には、ぜひ読んでみて欲しいです。	河出書房新社	2,250	2025
白石区	北白石	リラの花咲く けものみち	藤岡陽子	自分の居場所を見つけられずに不登校になった聡里。愛犬パールだけが心の支えでした。祖母に引き取られペットと暮らすうちに獣医師を志し、北海道へ。北海道で生きることの希望をみつけ、人生を変えて行く物語です。今年2月にNHKでドラマ化もされました。	光文社	1,700	2023
白石区	東橋	たくさんのふしぎ おいしさつながる 昆布の本	松田 真枝	昆布の美味しさ、昆布ができるまで、昆布の歴史など、写真・イラスト入りでわかりやすく紹介されています。	福音館書店	736	2024

白石区	西白石	大きな時計台 小さな時計台	小	川嶋康男	<p>ひとりの少年が子供の頃、札幌時計台の前で将来はこの時計台をいじれる人になりたいと夢見ました。</p> <p>大人になって時計職人となった井上少年は、いろいろな店で修行をして、「時計台のお医者さん」と呼ばれるようになりました。</p> <p>その後、親子で何十年にも渡り、時計台を守ってきた親子と札幌時計台の物語です。</p>	絵本塾出版	1,300	2011
白石区	南郷	おれのおばさん		佐川 光晴	<p>物語の舞台は札幌。</p> <p>東京で東大合格者数No.1の名門私立中学に通っていた高見陽介、14歳。</p> <p>ある日父親が横領の罪で逮捕された事で生活が激変する。</p> <p>陽介は、それまで絶縁状態だった伯母が運営する札幌の児童養護施設で暮らすことになる。そこには、未来を拓く「出会い」が待っていた。</p> <p>いつも前向きで迫力ある生き方のおばさんや周りの人達の影響で陽介は少しずつ変わっていく…。</p> <p>笑いあり涙ありの痛快青春ストーリー!</p> <p>続編の「おれたちの青空」「おれたちの約束」「おれたちの故郷」もおすすめです。</p>	集英社	1,200	2010
白石区	本通	おばけのマールと まるやまどうぶつ えん		え・なかいれい ぶん・けーたろう	<p>おばけのマールシリーズはどれもまるやまにすんでいるマールが出てくるので札幌に住んでいて、どれもあれこれはあそこかな?と思うのですが、こちらは円山動物園と題名に書いてあるのでより一層親近感が湧きます。</p> <p>マールが夜の動物園でたくさんお友達を作る話しです。見開きを効果的に使った構図が素晴らしく、フクロウの目だけ、キリンの足だけのアップなど読み聞かせにもぴったりだなと思います!</p>	中西出版	1,260	2005

白石区	上白石	神さまたちの遊ぶ庭	宮下奈都	二年間の帯広生活のはずが、夫の希望により一年間トムラウシで生活することになった宮下奈都さん。その場所の季節の移り変わりを日記のように書いていて、ときどきクスッと笑えます。	光文社	1,500	2015
白石区	本郷	ゆきゆきゆき	ほんままゆみ	北海道が舞台と特記されている訳ではありませんが、作者がニセコ町在住の方です。三人の子が、森の動物たちと雪遊びをするお話ですが、北海道にいる動物の特徴が本当に良く描かれています。絵本の中の朝焼けと夕焼けの景色は、羊蹄山のみえるニセコの雄大な景色そのものだと思います。	中西出版	1,500	2020
白石区	米里	銀の匙 Silver Spoon	荒井弘	アニメや実写化から文庫販売されている作品です。 北海道の酪農高校を舞台にした青春ドラマ？と初めは手に取るようですが、読み進むと命の現場を時にシビアに描かれており、「食べるということ」を考え何気ない「いただきます」の言葉が変わる本です。 笑いあり、涙ありではありますが、高校生が少しづつ悩みながらも成長していく姿は、心温まります。低学年でも読みやすく、高学年も一度読み始めると次の話を...と夢中になっています。	小学館	550	2011
白石区	幌東	ドーナツの歩道橋	升井純子	ヤングケアラーについて書かれたお話ですが、重い話ではなく、ごくふつうの家庭のお年寄りとの風景が書かれています。 若い人達にも介護について知ってもらいたいとの思いが伝わります。 ちなみに、題名は菊水の円形歩道橋がモデルのようです。	ポプラ社	1,400	2020
白石区	北都	シマフクロウのぼこ	志茂田景樹	いさむくんは、交通事故にあい、脳にも障害があるシマフクロウのぼこの出会いによって、将来獣医師になりたいという夢をもつようになります。人間と野生動物との共存を考えさせられる絵本。2018年度の北海道指定図書（低学年）	ポプラ社	1,380	2017
白石区	川北	にこにこ ぎゅっ	ひだのかな代	ホッキョクグマの双子たちは お母さんの愛情につつまれて、すくすく成長。札幌円山動物園のボランティアガイドでもある絵本作家ひだのかな代さんが、ホッキョクグマのララと双子の子どもたちを描いた物語です。	中西出版	1,000	2009

豊平区 A 平岸西	紅玉	後藤 竜二	“りんごの季節になると、父はきまって、ぼくらにおなじ話を語り、聞かせた”...終戦の年の9月、石狩平野の小さなりんご畑で起きたある出来事とは...切なさが胸に迫り、あらためて戦争に翻弄された人々について、ささやかな暮らしと平和への思いについて考えさせられる、作者の自伝的な物語です。この作品は、今は絶版になっているシリーズ平和の風 1 『九月の口伝』(汐文社)の中に収められていたものを、絵本版にしたものとなっています。同じテーマの絵本『りんご畑の九月』(新日本出版社)もおすすめ！	新日本出版社	1,400	2005
豊平区 A 中の島	弁当屋さんのおもてなし	喜多みどり	札幌の豊水すすきの駅近くの路地裏にある弁当屋を舞台に繰り広げられる作品です。弁当屋に訪れることで生まれる温かい人間関係や美味しそうなお弁当の描写がこの本のおすすめポイントです。北海道の食材がふんだんに使われる絶品のお弁当が登場します。毎話クローズアップされるお弁当や登場人物が変わるので飽きることなく楽しめます。是非読んでみてください！	角川文庫	600	2017
豊平区 A 西岡北	奇跡の本屋をつくりたい	久住邦晴	「中学生はこれを読め！」「小学生はこれを読め！」くすみ書房を知らなくてもこちらを知っている方はいらっしゃると思います。かくいうわたしもその一人でした。 この企画たちがここ札幌でどういう経緯で熱意を持って行われたのか、もしかしたら身近にも関わっていた方々がいるかもしれません。 私たちも今、子どもたちや地域の方々の読書活動に携わっています。先達の足跡を追うことで、自分たちの活動に新たな活力をもたらしてくれるような一冊です。	ミシマ社	1,500	2018
豊平区 A みどり	シマフクロウのぼうけん	ち 北海道シマフクロウの会	保護が必要なシマフクロウの赤ちゃんと、お母さんがわりとしてちびと名付けた女の子ユキ。ユキの夢の風景に北海道の四季折々の自然が感じられます。シマフクロウの豆知識も載っていて、とても学べる作品です。	北海道新聞社	1,200	2016

豊平区 A 西岡南	北の里から平和の 祈り ノーモ ア・ヒバクシャ会 館物語	こやま峰子	1945年8月、長崎の原爆で両親を失った少女は被爆体験に悩みながら祖母と一緒に北海道にわたり、成人後に結婚、出産を経た。その心の拠り所としてきた小さなマリア像は、終戦から40年を経て広島・長崎以外で唯一被爆者と市民の協力により札幌に建てられた原爆資料館「ノーモア・ヒバクシャ会館」に寄託された。北海道に原爆記念館があることをこの本で初めて知りました。戦後80年、語り継ぐ人が年々少なくなる一方、今も世界中で戦争が起こっている中で、改めて戦争が引き起こす悲惨さやその後ずっと付き纏う苦悩を知り、平和とは何かを考えさせられる本。	北海道新聞社	2,000	2020
豊平区 A 平岸	二平方メートルの 世界で	前田海音	この絵本は今15歳の作者が小学3年生の時に書いた作文が元になっています。作者が脳神経の病気で3歳のころから入退院を繰り返していて兄に対する申し訳ない気持ちやなぜ自分だけというやるせない気持ち・・・そんななか二平方メートルという病院のベッドでの世界で大発見をする感動する作品です。	株式会社小学館	1650	2021
豊平区 A 豊平	きたきつねとはる のいのち (いき るよろこびシリー ズ)	手島圭三郎	版画絵本作家・手島圭三郎氏の引退作品。3月、まだ雪に覆われている北海道の森の中で、巣穴にこもっていた動物たちが次々と姿を現し、命があふれていく様子をきたきつねの視点から描いています。きたきつねは子どもに与えるたべものを探しつつ、獲物となる小さな動物たちもまた春の訪れを前に生き生きと動き回っている姿を見つめています。厳しい冬を共に乗り越えた同士と感じているようです。ここ2年ほど卒業お祝いお話し会で読んでいた本です。低学年の頃にコロナ禍によって「冬の時代」を経験している6年生に向けて、どれほど厳しい冬でも必ず終わりが来て暖かい春がやってくる…。そのことを覚えていてほしいという思いを込めています。	絵本塾出版	1700	2021
豊平区 A 平岸高台	おかあさん牛から のおくりもの	松岩達	北海道の酪農のこと、知っていますか？この本は、オホーツクの牧場を舞台に、酪農家さんの1日や、牛に関するあらゆることがとても詳しく紹介されています。牛の命と、多くの人の働きによって私たちの生活が支えられていることがわかる一冊です。酪農ヘルパーをしながら描かれた牛の絵は、緻密な部分まで表現されており、イラストを見るだけでも価値のある本です。	北海道出版社	1,870	2014

豊平区 A	西岡	アリハラせんぱいと救えないやっかいさん	阿川 せんり	「こじらせ系」という表現が本当にしっくりくる。半分以上が「」でできている、会話のテンポが快活な北大生の青春小説。出てくる地名が身近で親近感がわきまくる。	角川書店	1,400	2017
豊平区 A	東山	ひまなこなべ	文:萱野茂 どいかや	絵: 「カムイが獲物の姿を借りて、矢に当たりに来てくれる」—このアイヌの狩猟観を最初に知った時、幼い私は「人間に都合のいい図々しい考え方だ」と思ったのでした。アイヌの物語をいろいろと読んでからは、人間が他の動物より強者であると思ひ上がることなく、自然を敬う気持ちとその行いの対価として獲物を得られるという、自然共生の知恵だと知り、あの頃の自分に教えてやりたくなったものです。 この物語は、獲物に恵まれる＝カムイが何度もやってくることを、物を大切にすることを教えと絡めて、見事に伝えてくれる“腑に落ちる”神話だと思いました。 絵柄が可愛らしいのも大きな魅力で、低学年の児童にすんなり手に取ってもらえそうな柔らかいタッチと色彩です。手島圭三郎さんの絵本はまだ早いような歳の子どもたちにおすすめ。	あすなる書房	1,400	2016
豊平区 B・清田区	北野	赤いペン	澤井美穂	北海道のとある街。中学生の夏野は、街で囁かれる「赤いペンの怪」について調べています。赤いペンを実際に手にした人々に聞き込みをしていくなかで、様々な人と関わり物語が紡がれていきます。そして赤いペンの正体とは・・・優しくどこか切ない不思議な物語です。続編で「ローズさん」があります。	フレーベル館	1,400	2015
豊平区 B・清田区	美しが丘 緑	1ねん1くみ1ばん おかねもち	後藤竜二	夏休みにぼくはくろさわくんと北海道に行くことになった。 くろさわくんの母さんの実家は広尾郡で牧場を営んでいる。 牧場の仕事を手伝ったり川で砂金取りをする話。	ポプラ社	1,000	1991
豊平区 B・清田区	清田緑	どさんこうまのふゆ	本田哲也	どさんこ馬達が北海道の極寒の冬を乗り越えていく姿がえがかれた絵本です。 馬の表情や、毛並みなど、とても繊細に描かれているところがおススメのポイントです。特に冬の凍てつく様な風や雪の表現は、見ているこちらにも肌寒くなるようなリアルさがあり、絵本の世界に引き込まれます。 この絵本を通して、厳しい冬を乗り越える生命力を感じ、生き抜くことの大切さ、尊さを考えるきっかけになると思います。	福武書店	1,426	1991

豊平区 B・清田 有明 区	探そう！ほっかい どうの虫	堀 繁久	あまり図書館に馴染みのない児童も夏になると借りにきてくれる書籍 です。北海道でみられるカブトムシやクワガタなどの大人気な虫が のっています。写真が大きくのっていて低学年の虫好き児童も興奮し てみてください。図鑑のように太く重たい書籍ではないので持ち運びや すくおすすめです。	北海道新聞 社	1650	2006
豊平区 B・清田 福住 区	神さまたちの遊ぶ 庭	宮下 奈都	著者が一家で北海道のトムラウシに一年間、山村留学をした経験をま とめたエッセイです。北海道の厳しい大自然、そこに暮らす逞しく優 しい人々との出会いと別れなどがユーモアを交えて描かれています。 軽快で面白く、考えさせられ、ほっこり、そしてちょっと涙。何気 ない日常の描写に心が洗われます。	光文社	1,650	2015
豊平区 B・清田 清田南 区	ミンタラ② アイヌ民族 21人の人物伝	北原モコットウ ナシ	北海道で暮らしていたアイヌ民族は、移住した和人からの差別を受け ながら、アイヌ・日本・西洋が入り乱れた時代を過ごしてきました。 その中で、語り継ぎたい江戸時代から平成までのアイヌの歴史的人物 を21人紹介しています！そして、令和の今を生きているアイヌ民族の 方々のインタビューは、いろいろなルーツがあり、いまと昔の生き生 きとしたアイヌ民族の暮らしがわかる本になっています！	北海道新聞 社	1,800	2022

				北海道斜里町町立図書館司書さんが、中高生の悩みや質問に匿名掲示板でこたえる本です。			
				ひとつひとつの質問・悩みに対して、決して否定することなく真摯に受け止め、傷付けることなく答えていく。素晴らしいです！			
				面白くて一気に読みました！ 120の質問の他、おすすめの本のページや「図書館のこと、もっと知りたい！」「斜里町ってどんなところ？」のコラムのページもあり、飽きずに読める一冊です。 どのページから読んでも楽しめます。	(株) ワニ ブックス	1,300	2025
豊平区 B・清田 真栄 区	図書館のゆるゆる 人生質問箱	斜里町立図書館		あとがきに、『あなたの問いに対して図書館の人はこう思うよ、考え方はたくさんあるよと伝えたい。大切にしているのは「答え」よりも「応え」ていくこと。』とあり、ひとつひとつの質問や悩みをととても大切に考えていることが伝わってきました。			
				子どもも大人も楽しめる、優しい気持ちになれる一冊です。			
豊平区 B・清田 平岡 区	さいはての彼女	原田マハ	ひょんな理由から北海道の女満別に降り立った涼香。ひとりの少女と出逢い、強張った心をほぐされもう一度立ち上がる。「再生」をテーマにした短篇集です。読書後の爽快感がよく、悩みにぶつかっている時など心の底をぐっと押し上げてくれるような素敵な一冊です。	KADOKAWA (角川 文庫)	520	2013	
北区	白楊	ほっかいどう映画館 グラフィティー	和田由美+北の 映像グラフィ ティー	物語ではないのですが、明治期から平成22年に新しく開館した映画館の歴史や盛衰の様子写真を混じえ、テンポよく紹介しています。 思い出のいくつかを思い出させてくれる一冊になるでしょう。	亜璃西社	1,800	2015

				少年とともに子グマと一緒に育ち、少年とクマの友情がうまれる、少年が育てたクマがイオマンテになり神の国へ帰っていく話			
北区	光陽	クマと少年	あべ弘士	アイヌ文化の儀式が関係してくる クマば神に姿を変えて肉と毛皮をお土産におりてくる 少年はクマとの友情とアイヌ文化儀式の狭間でどう生きていくかを美しい絵とともに読んでもらいたい。	ブロンズ新社	1650	2019
北区	鴻城	鳴き声できずなを 結ぶ エゾ ナキウサギ	佐藤圭	命のつながりシリーズの写真集です。 一部の山地でしか見ることでできないエゾナキウサギを取り上げた本ですが、可愛い写真だけではなく、エゾナキウサギの生態についてや、北海道の四季の様子を楽しめます。 写真家の佐藤圭さん自身も北海道出身で、同シリーズに、『山の園芸屋さん エゾシマリス』もあります。こちらもとても可愛くお勧めです。	文一総合出版	2,000	2023
北区	幌北	大きな時計台 さな時計台	小川嶋康男/作 ひだのかな代/ 絵	札幌の街の移り変わりを見守ってきた時計台。この時計台をずっと守ってきた親子の物語。	絵本塾出版	1,300	2011
北区	あいの里 西	札幌の昆虫	木野田 君公	札幌市周辺に生息する虫、約1700種類が紹介されています。地名にちなんだ名前のついた昆虫も多く、札幌が日本の昆虫学の発祥の地であったことがうかがえます。あいの里西小学校の近くの福移湿原にのみ生息しているカラカネイトトンボも紹介されていて、虫の好きな子ども達に大人気の本です。	北海道大学出版会	2,640	2006
北区	新琴似	いのちのいれもの	小菅正夫	作者は元 旭山動物園 園長の小菅正夫さん、舞台は旭山動物園の絵本です。 家族と動物園に来たトコちゃんは、会いたかったトラのイチが死んでしまったことを知ります。泣いているトコちゃんに園長さんは「いのちのいれもの」についての話をしてくれました。 私たちの命は40億年も前から長い間「いれもの」を変えながら続いていること、一生懸命に生きることが命をつなぐという大切な役割となること。 命の大切さを新しい視点から分かりやすく教えてくれる、読み聞かせにも良い絵本です。	サンマーク出版	1,500	2011
北区	新陽	さっぽろ探見	杉浦正人	場所の地図と説明が書いてあるのでお散歩がてら歩いてみるのもありかな	北海道新聞社	1,700	2024

北区	屯田	けちんぼおおかみ	神沢利子	オオカミどんが海辺で見つけた鯨の肉を口にくわえて帰る途中、二人の子どもに分けてと頼まれたが、知らんぷり。すると、大変なことが起こります。 北海道石狩のアイヌの民話です。 読み聞かせにもおすすめです。	偕成社	1,400	1987
北区	新川	しまふくろうのみ ずうみ	手島圭三郎	版画の絵がとても綺麗で見応えがあり、遠目がきくので読み聞かせにもおすすめです。 静かなお話ですが、子供たちも聞き入ってくれる一冊です。	福式書店	1,100	1982
北区	太平	金木犀とメテオラ	安壇美緒	北海道に新設された中高一貫女子校が舞台の青春小説。東京からきた優等生と新入生総代の美少女の秘かなライバル心や友人たちとの成長が書かれています。	集英社	1,700	2020
北区	新川中央	生きる 連仁の物語	劉 森越智子	1944年9月、日本軍により中国から連れ去られた劉連仁。過酷な炭鉱労働から逃亡し、北海道の山中で必死に生き抜いた。13年後、上当別の山岡の雪穴から発見されるまでの孤独な闘いの物語。 テーマは難しく感じるかもしれませんが、文字も大きく、ふりがなもあり、小学生にも読みやすく作られています。また、実際にあった出来事ですので、戦争の残酷さをより身近に感じながら読み進めることができます。ひどく、つらいという言葉だけでは言い表せない時を過ごした劉さんですが、発見されてから後の日本人との交流と友情を感謝し、日本に対する恨みや憎しみの言葉を口にはしなかったそうです。彼が生涯をかけて願った「平和」。私たちもその思いを、引き継いでいかなければなりません。	童心社	1,600	2015
北区	篠路	慟哭の谷 北海道三毛別・史上最悪のヒグマ襲撃事件	北 木村盛武	1915年、苫前村の開拓地に現れたヒグマによる死者8名の「三毛別事件」を生存者の証言をもとに描くノンフィクション。 著者自身のヒグマとの遭遇、福岡大学ワングル部の日高山系でのヒグマ襲撃事件、写真家星野道夫氏の事件も収録。	文藝春秋	670	2015

北区	あいの里 東	リラの花咲く け ものみち	藤岡 陽子	家庭環境に悩み、心に傷を負った主人公聡里が、祖母とペットに支えられ、獣医師を目指して北海道の大学に進学。同級生、先輩に囲まれていろいろな経験をし、生きることについて考えながら逞しく成長していく物語。 作者の娘さんが酪農学園大学に進学したことから、北海道を舞台に物語を構想、執筆したそうです。動物の命に向き合う時の理想と現実の間での葛藤。北海道に住んでいるからこそ感じられる自然や情景。感動作です。	光文社	1,870	2023
北区	拓北	とかち環境絵本 トカプチのめぐみ 森から海へ	本田哲也	雪解けの川の水の流れとともに、季節にそって虫・動物などの生き物が、とても丁寧な絵で描かれている絵本です	十勝毎日新聞社	1,429	1999
北区	新琴似北	神さまたちの遊ぶ 庭	宮下奈都	作家宮下奈都さんが、「北海道の大自然の中で暮らしてみたい」という、ご主人の強い希望を受け入れ、福井県から北海道のトムラウシに家族みんなで1年間移住し、山村留学を通して感じたことを書いたエッセイ。中学3年、中学1年、小学4年の子供たちが、美しい大自然や地域の人の中で成長していく様子に胸を打たれ、宮下さんの冷静な突っ込みと軽快な語り口がおもしろく何度も吹き出してしまいます。	光文社文庫	792	2017
北区	北陽	エゾモモンガちゃんの日々 ぼくたちの森と空	小原玲 写真 堀田あけみ 文	北海道の森に暮らすエゾモモンガの愛らしい姿が、美しい写真とともに紹介されています。大変警戒心が強く、撮影が難しいことでも知られるエゾモモンガの貴重な瞬間が満載です。著者の奥様である堀田あけみさんの温かい文章にも癒されます。自然のやさしさと命のぬくもりを感じられる一冊です。	ワニ・プラス	1,400	2023
北区	新琴似西	探偵はBARにいる	東直己	札幌・ススキのを舞台に、探偵とその相棒・高田がさまざまな時間に巻き込まれるハードボイルドな物語です。 特徴的なのは探偵が入り浸るバー「ケラーオオハタ」を拠点に、独特な雰囲気の中で事件を解決していく点です。 探偵と高田の凸凹コンビの掛け合いが物語の面白さを引き立てます。	ハヤカワ文庫JA	760	1995